

所沢市議会議員 谷口まさのり 発行

ツイッターは以下へ
谷口のつぶやきを発信！

谷口まさのり 所沢市政レポート

『2012年12月議会報告編』

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話：04-2941-5111 / FAX：04-2941-5112

・メール（パソコン）：tani.eco@dream.ocn.ne.jp

・ツイッター：[twitter.com/#!/taniguchi1965](https://twitter.com/taniguchi1965)

ツイッターは頑張って更新しております！！ ・ホームページ：『谷口まさのり』で検索ください。



谷口まさのり

◆えっ？ 狭山ヶ丘中での騒音測定方法は『防衛省方法』*より、低い数値が出る？

* 防衛施設周辺防音事業に係る音響の強度及び頻度の測定等に関する訓令：防衛省訓令第88号

◆自転車事故防止対策について（三鷹市の視察を踏まえて・・・）

◆プロフェッショナル人材の育成に向けて市職員の『複線型人事制度』の提言

私、谷口は12月議会において、議案に対する質疑、一般質問において発言致しました。
詳細は中継録画で見られます。（『所沢市議会』で検索⇒『所沢市議会 録画中継』⇒『定例会12月』⇒ 12/6質疑、12/14一般質問）



■ 一般質問（主に市執行部に対し、事業等に関する質問）

① 狭山ヶ丘中学校の学習環境格差是正（防音の為のエアコン設置問題）について、市長、執行部とのやりとり要旨（詳細は中継録画をご覧ください。）

（谷口）：（最初に環境クリーン部長とのやりとり後に）市長は狭山ヶ丘中学校（以下、さや中）の学習環境格差是正を意図した防音対策の為のエアコン設置は現状では必要ナシと、騒音測定後に改めて判断したと私は認識しているが、そもそも今回の測定において、問題アリ、ナシの具体的な判断基準は測定値（音の大きさの単位のデシベル）、測定された時間（秒、分）についてはどこにおいていたのか？

（市長）：私は今回9月に騒音測定をした上でエアコンを設置しないという最終判断をしたわけではない。それ以前に（過去の）卒業生や（教鞭をとった）教員に話を聞いて判断をしている。尚、今回9月の測定は、議会からの決議や市民からの請願（エアコン設置要望の）があった為、騒音の実態を調べる為に行ったものである。

（谷口）：広報ところざわ11月号には、エアコン設置を行わない理由の2つ目として、測定結果として、『70デシベル（dB）以上は1日平均21秒（授業時間中）』であったことが非常にクローズアップされている。それでは、この記事の解釈はどのようにすればよいのか。

（市長）：70dB以上は、一般的にうるさいと言われているレベルと認識している為、その数値を掲げさせていただいた。

（谷口）：前回9月議会では時間切れで市長から答弁をいただけなかった質問を再度行いたい。結論として、藤本市長が市長在籍中は、この、さや中の防音対策を目的としたエアコンは100%設置されないという解釈で良いか。

（市長）：自分が市長としての在籍中は、（エアコンを設置しないという考えは）翻意はしない。

（裏面へ）

(谷口) : (環境クリーン部長へ、市長からの上述の答弁はあったが) 騒音測定についての質問に戻る。騒音の測定手法には各種の方法があるようだが、今回は『何特性』で行ったのか。

(部長) : 今回の測定方法は『A特性』である。

(谷口) : (パネルを示しながら) これは、今回、市が測定器として使用したメーカーのホームページから引用したデータ資料であるが、これを見ると、実は『周波数の低い領域ではA特性の方がC特性より測定値が低く出る。』ことを示しておきたい。また防衛省訓令で規定されている方法は、(Aではなく)『C特性』である。そこで、測定前には防衛省訓令の存在は承知していなかったとのことだが、今回は教室内のどの場所で測定を行ったのか。

(部長) : 教室の後方で、(外側) 窓から約4m離れている場所 (真ん中) で測定した。

(谷口) : 訓令の第3条の「測定の場所」では『音響がもっとも著しいと推定される場所』で測定することが規定され、また同様に、『マイクロホンの位置』では、『屋外に面した窓から1メートル、施設の屋外に向ける。』と規定されている。つまりは、一番うるさい地点での数値を把握すべきという考え方になっている。ちなみにマイクロホンはどの方向に向けていたのか。

(部長) : (ジェスチャーで示しながら) マイクは (上側に) 向けており、外の窓側に向けてはいなかった。

(谷口) : そうすると、今までのやりとりから総合的に判断すると、結局、今回の騒音測定値として出てきた数値は、防衛省訓令での測定方法に則って行う場合に比べて、数値が低くなっているのではないかと考えるが、いかがか？

(部長) : 今回はあくまでも授業中の航空機騒音の実態を把握する目的で実施した。今回の方法は防衛省訓令に基づいた方法ではない為、測定結果は一概に比較はできないが、現状の把握はできたものと考えている。

(谷口) : (答弁内容には納得してない為) 今後ともこの問題は狭山ヶ丘中学校の学習環境の格差是正という視点から引き続き取り上げていきたいと考える。

- ② その他の一般質問として、★『自転車事故防止対策について』(自転車が絡んだ交通事故件数をここ7年間で37%も減らしている三鷹市の視察を踏まえ、自転車安全講習会に参加することで、駅近くの市の駐輪場において、駐輪場が空いた後の優先使用权取得とリンクすることを提言) ★『市の将来を見据えた人事政策』(プロフェッショナル人材の育成の為に、途中から総合職とは別の専門職の導入を提言) ★『北野グランド冬季使用でのスポーツ振興』(昨年3月議会での冬季の水ハケ(霜)対策提言後の実施状況を質問⇒11月上旬に、試験的にグランド改善対策を実施したことを確認できました。)等を取り上げました。(詳細は『録画中継』をご覧ください。)



◆ 谷口まさのり 経歴 ・昭和40年生まれ、埼玉大学 工学部 環境化学工学科卒業 ・栗田工業(環境系)や省エネのコンサル企業に計15年間在籍(技術営業) ・2011年4月 所沢市議選に当選(2,644票、みんなの党 公認) ・趣味等: スポーツ観戦、カラオケ、大のビール党 ・環境カウンセラー(環境省資格) / 社会保険労務士(年金・労働分野の国家資格)